

KAYABA RALLY TEAM



JAF全日本ラリー選手権 参戦レポート#1

2025年 JAF全日本ラリー選手権 第1戦

RALLY三河湾2025 Supported by AICELLO

2025/2/28(金)~3/2(日)

愛知県蒲郡市/岡崎市/豊川市/額田郡幸田町



再起をかけた開幕戦

クラス6位 無傷完走で前進!

KAYABA RALLY TEAM



大会概要

日程: 2025/2/28(金)~3/2(日)
 場所: 愛知県蒲郡市周辺
 主催: エム オート スポーツクラブ
 SS数: 14
 路面: ターマック
 総走行距離: 245.87 km
 SS距離: 76.32 km



スペシャルステージ設定

【LEG1】 3/1(土)
 天候: 晴れ / 路面: ドライ

	スタート		8:30
SS1	SSS Gamagori Takeshima 1	0.87 km	9:00
SS2	SSS Nishiura Seaside Road 1	4.44 km	9:50
SS3	Mikawawan Skyline 1	10.08 km	10:40
	サービスA (45分)		11:40
SS4	SSS Gamagori Takeshima 1	0.87 km	12:55
SS5	SSS Nishiura Seaside Road 1	4.44 km	13:45
SS6	Mikawawan Skyline 1	10.08 km	14:45
SS7	SSS KIZUNA 1	0.70 km	15:41
	サービスB (60分)		16:41
	パルクフェルメ		

【LEG2】 3/2(日)
 天候: 晴れ / 路面: ドライ

	サービスC (15分)		7:10
SS8	Toyokawa Miyaji-San 1	10.70 km	8:00
SS9	Okazaki Kuwagai-Tobone 1	6.57 km	8:50
SS10	Fukouzu Sports Park 1	10.08 km	9:15
	サービスD (30分)		10:25
SS11	Toyokawa Miyaji-San 1	0.87 km	11:30
SS12	Okazaki Kuwagai-Tobone 1	4.44 km	12:20
SS13	Fukouzu Sports Park 1	10.08 km	12:45
SS14	SSS KIZUNA 2	0.70 km	13:40
	フィニッシュ		13:50

全体図



チーム体制



チーム : KAYABA Rally Team
 監督 : 梶本 一憲
 チームアドバイザー : 奴田原文雄
 チーフメカニック : 山田 淳一(RUTS RACING)
 リーダー/エンジニア : 松下 雄介
 ドライバー : 石黒 一暢
 コ・ドライバー : 穴井 謙志郎
 メカニック : 長江 将典、増谷 大志
 松田 幸也、三國 大河

リザルト (JN-1クラス 6位 / 総合 15位)

クラス	No.	Dr.	Co-Dr.	参加車両名	車両型式	車両区分	LEG 1							LEG 2							総合計	クラス順位	総合順位				
							SS1	SS2	SS3	SS4	SS5	SS6	SS7	Penalty	合計	SS8	SS9	SS10	SS11	SS12				SS13	SS14	Penalty	合計
JN-1	2	勝田 範彦	保井 隆宏	GR YARIS Rally2	MXPA12	Rally2	0:46.7	2:51.9	5:14.6	0:46.0	2:52.6	5:06.8	0:48.4		18:27.0	9:47.8	4:57.1	3:05.5	9:38.3	4:53.6	3:05.5	0:47.3		36:15.1	54:42.1	1	1
JN-1	6	Heikki Kovalainen	北川 紗衣	AICELLO速心DLヤリスRally2	MXPA12	Rally2	0:46.4	2:52.8	5:13.3	0:45.1	2:49.1	5:02.7	0:48.7	1:00	19:18.1	9:48.5	4:56.5	3:01.3	9:31.5	4:45.6	2:59.4	0:47.8		35:50.6	55:08.7	2	2
JN-1	3	奴田原文雄	東 駿吾	ADVAN KTMS GRヤリスRally2	MXPA12	Rally2	0:46.5	2:51.9	5:17.4	0:45.7	2:52.0	5:09.8	0:50.9		18:34.2	10:00.1	4:59.8	3:03.7	9:50.5	4:54.6	3:01.5	0:48.4		36:38.6	55:12.8	3	3
JN-1	7	鎌田 卓麻	松本 優一	Castrol TEIN DL SKODA	ABCUFX11	Rally2	0:48.9	2:51.9	5:09.1	0:45.1	2:51.5	5:06.1	0:49.6		18:22.2	9:54.7	5:19.8	3:05.6	9:47.3	5:16.2	3:06.9	0:47.4		37:17.9	55:40.1	4	4
JN-1	4	福永 修	齊田 美早子	OSAMU焼肉ふじ☆CTE555ファビア	ABDKZX11	Rally2	0:44.9	2:51.9	5:29.3	0:44.4	2:55.2	5:19.4	0:48.3		18:53.4	10:15.6	5:04.6	3:18.6	10:00.6	4:58.6	3:07.0	0:49.4		37:34.4	56:27.8	5	5
JN-2	13	山田 啓介	藤井 俊樹	FIT-EASYソニック石川IDLGRヤリス	GXPA16	RJ	0:51.1	3:02.9	5:34.1	0:48.3	3:01.8	5:26.8	0:54.4		19:39.4	10:10.6	5:15.2	3:28.2	10:08.7	5:17.2	3:23.9	0:51.7		38:35.5	58:14.9	1	6
JN-2	12	小泉 敏志	村山 朋香	若鷺DLドリームドライブGRヤリス	GXPA16	RJ	0:50.7	3:02.4	5:35.7	0:49.7	3:03.1	5:28.7	0:50.9		19:41.2	10:23.5	5:17.2	3:28.3	10:06.0	5:12.4	3:27.9	0:50.7		38:46.0	58:27.2	2	7
JN-2	10	三枝 聖弥	木村 裕介	名古屋スバル ラック DL WRX	VAB	RJ	0:51.7	3:05.8	5:42.7	0:50.3	3:03.9	5:28.4	0:51.0		19:53.8	10:40.4	5:26.4	3:25.7	10:34.7	5:23.7	3:26.7	0:50.6		39:48.2	59:42.0	3	8
JN-2(MCC)	21	大竹 直生	橋本 美咲	GR YARIS GR4 Rally	GXPA16	RJ	0:49.1	3:03.9	5:29.7	0:48.2	3:04.3	5:30.4	0:53.4		19:39.0	10:52.6	5:31.7	3:25.9	10:53.6	5:27.9	3:23.7	0:50.1		40:25.5	1:00:04.5	4	9
JN-3	30	山本 悠太	立久井 和子	SammyK-oneルプロスYHGR86	ZN8	RJ	0:50.7	3:06.1	5:36.4	0:50.9	3:09.0	5:38.5	0:58.8		20:10.4	11:21.5	5:23.0	3:36.3	10:25.7	5:18.7	3:31.0	1:02.9		40:39.1	1:00:49.5	1	10
JN-4	37	高橋 悟志	真作 裕子	ミツバWMDLマジカル冷機スイフト	ZC33S	RJ	0:51.4	3:10.1	5:53.6	0:51.1	3:10.2	5:49.6	0:57.2		20:43.2	10:48.3	5:30.2	3:33.7	10:31.3	5:26.3	3:32.9	0:57.0		40:19.7	1:01:02.9	1	11
JN-2(MCC)	27	稲葉 摩人	竹下 紀子	MATEX-AQTEC DL KYB Yaris	GXPA16	RJ	0:50.0	3:04.6	5:36.9	0:49.3	3:04.6	5:32.2	0:51.0	1:00	20:48.6	10:58.2	5:34.5	3:29.9	10:42.7	5:27.1	3:25.1	0:51.1		40:28.6	1:01:17.2	5	12
JN-2	19	HYOMA	菅野 総一郎	FaithCraft YH GR Yaris	GXPA16	RJ	0:51.8	3:05.8	5:42.4	0:48.7	3:07.4	5:38.9	0:57.1	1:00	21:12.1	10:51.1	5:28.1	3:32.1	10:35.7	5:24.3	3:23.5	0:53.4		40:08.2	1:01:20.3	6	13
JN-2	22	Jones Zeal	Thomson Bayden	CUSCO WM DL GR Yaris	GXPA16	RJ	0:50.5	3:10.1	5:53.1	0:49.5	03:05.1	05:36.5	00:49.9	1:00	21:14.7	10:49.4	5:25.3	3:29.6	10:52.8	05:23.9	03:25.1	0:51.4		40:17.5	1:01:32.2	7	14
JN-1	8	石黒 一暢	穴井 謙志郎	カヤバ GRヤリス	GXPA16	JP4	0:48.3	3:03.7	5:44.7	0:48.9	3:01.8	5:46.8	0:58.8		20:13.0	11:21.5	5:30.2	3:29.7	11:08.7	5:36.1	3:26.9	0:55.8		41:28.9	1:01:41.9	6	15

2月28日(金)～3月2日(日)、愛知県蒲郡市を拠点に、2025年シーズンの全日本ラリー選手権 第1戦『RALLY三河湾2025 Supported by AICELLO』が開催された。今年で2回目の開催となるラリー三河湾は、曲がりくねった林道に加え、竹島埠頭でのギャラリーステージ、スパ西浦サーキット、未舗装路広場など、多彩なステージが特徴。ステージ毎に異なるコンディションへの対応力が重要となる。

LEG 1

SS1/4 「SSS Gamagori Takeshima 1/2」 0.87 km

蒲郡駅前の竹島埠頭を使用したフラットなギャラリーステージで、多くの観客が見守る中、2025年シーズンの幕開けとなるSS1が朝一のスタートを迎えた。冷えたタイヤの影響で走行ラインを外す場面もあったが、SS1では総合7位のタイムを記録した。

SS2/5 「SSS Nishiura Seaside Road 1/2」 4.44 km

西浦町に位置する「スパ西浦モーターパーク」を舞台としたサーキットステージ。昨年とほぼ同様のレイアウトとなり、走行ラインを改善して挑んだ。ダンパーセッティングの熟成により車両挙動が昨年よりも安定し、SS2/5ともに総合10位のタイムを記録。安定したペースで走行した。

SS3/6 「Mikawawan Skyline 1/2」 10.08 km

ドライブコースとしても人気の三河湾スカイラインを使用した高速ステージ。片側1車線のコースにはセンターポールやキャッツアイなどの障害物があり、その攻略が重要となる。道路工事により通行止めとなっていた区間が今年開通となり、全日本ラリーでも指折りの長距離高速ステージとなった。リーディングタイミングの改善により、より遠くを意識した走行が可能となり、イメージ通りのラインをトレース。しかし、慎重になりすぎたことで総合20位台とタイムは伸び悩んだ。

SS7 「SSS KIZUNA 1」 0.70 km

トヨタ自動車(株)が保有する非舗装路のテストコースを使用したグラベルステージ。昨年からのレイアウトが変更され、高速かつシンプルな設定となった。惜しくもスピンを喫してしまい、LEG1をクラス7位/総合14位で終える。



LEG 2



SS8/11 「Toyokawa Miyaji-San 1/2」 10.70 km

本戦最長の林道ステージ。複合コーナーが多く、上り下りや道幅の変化が激しいため、ペースノートの精度が鍵となる。リスクを抑えるため無理をしない走行を心掛けたものの、狙ったダンパーセッティングが路面にマッチせず。加えて、安全を重視しすぎた走行により、SS8では総合31位のタイムに沈む。2ループ目となるSS11では約13秒のタイムアップを果たすも順位は伸びず。

SS9/12 「Okazaki Kuwagai-Tobone 1/2」 6.57 km

前半は狭い林道セクション、後半は三河湾スカイラインを走行するステージ。途中でコースの特性が大きく変化するため、車速感の切り替えが鍵となる。SS8の走行を踏まえ、減衰力セッティングを修正し車両の挙動は向上。しかし、前半セクションで抑えすぎてしまい、SS9では総合17位を記録。

SS10/13 「Fukouzu Sports Park 1/2」 4.80 km

前半は本大会の最高速 約180km/hを記録した高速セクション、後半は狭く、交差点を分岐するようなテクニカルな低速セクションとなる。先の見えないブラインドコーナーも多く、コ・ドライバーのリーディングが特に重要となる。メリハリのある走行ができ、SS10/SS13ともに総合13位の好タイムを記録した。

SS14 「KIZUNA 2」 0.70 km

LEG 1 SS7と同じステージを再走行。LEG1の感覚を活かし、前半は上位陣に迫る好調な走りを見せた。しかし、ステージ終盤のスラロームセクションにて車両姿勢を誤り、ハーフスピンを喫してしまう。他車のミスコースによるペナルティが多発する中、LEG2を終え、総合順位15位/クラス6位にて開幕戦を終えた。

KAYABA RALLY TEAM



DRIVER 石黒 一暢 - Ishiguro Motonobu -



オールカヤバ体制でのJN-1クラス挑戦は2年目を迎えました。昨シーズンの後半2戦ではリタイヤとなり、その原因を分析した結果、ペースノートのリーディングタイミングと滑りやすい路面でのドライビングに課題があることがわかりました。そこで、本大会ではペースノートは“先の先”を読んでもらい、安全かつスムーズにラインをトレースできるよう意識付けを徹底しました。また、ドライビング面では苦手だった、苔や泥、落ち葉といった路面のミュー（摩擦）変化に対応できるよう、さまざまな路面でのグリップ感を知るトレーニングを行い、本戦に挑みました。

その結果、ペースノートの改善は特に高速SSにおいて効果を発揮し、路面のうねりやミュー変化にも問題なく対応することが出来ました。一方でセッティング面では課題が残るため、今後も改善を重ね、ペースアップに向けて取り組んでまいります。

Co-DRIVER 穴井 謙志郎 - Anai Kenshiro -



今シーズンは、選手を含むチーム全員がカヤバ社員となる「オールカヤバ体制」2年目の挑戦となります。昨シーズンの最終2戦はリタイヤに終わったため、今大会では「完走」を最優先の目標として臨みました。昨年から大きく変えた点は、リーディング（ペースノートの読み上げ）のタイミングです。より遠くの道までドライバーに意識させ、冷静な判断を促すためには、まず自分自身が冷静であることが何より重要でした。2年目ということもあり、余裕を持ってリラックスして臨めたのは良い点だったと感じています。

「完走第一」を掲げた結果、守りに入りすぎた部分もありましたが、まずは無傷で完走というスタートを切れたことは良かったです。今後は確実に完走できる安定感を維持しつつ、その中でいかにタイムを削り総合順位を上げていくかに注力し、更なる成長を目指す1年にしたいと思います。



NEXT

Rd.2
4/11~4/13 佐賀県唐津市
ツールド九州2025 in 唐津



Special Thanks

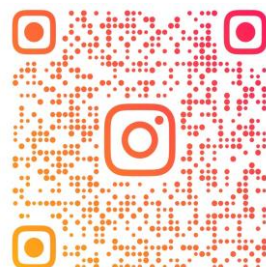


※写真は他にもございます。必要でしたらお申し付けください。



原点を見つけることが、
未来を目指す力になる。

未来を見つけることが、
今日を変えていく力になる。



@kybcorporation
カヤバ株式会社
公式Instagram



@KAYABA_KYB
カヤバ株式会社
公式X(旧Twitter)



@kyb_official
カヤバ株式会社
公式YouTube

Youtubeにて
動画公開中!



Our Precision, Your Advantage

私たちは創業から息づく「ものづくり」の原点に立ち返り、未来に向かって歩み続けます。

Kites rise highest against the wind - not with it. Winston Churchill